

11-12月 『ライカムで待っとく』

演出 田中麻衣子さんへ「忘」を問う

1 **シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は？**
A: 文字を見るだけでも、自分の日常の「冒」と「忘」にフと意識が向く、作家でもある長塚さんだからそのタイトルだと思いました。実直だし、遊びもあるし、ちょっと洒落ていて。ハツとして、0.2℃くらい体温上昇しました。面白そうだと思います。どちらも前に進むのに必要なことだと感じます。

2 **自分にとっての「忘れる」「忘却」とは？**
A: 忘れたくない、覚えていたのに忘れてしまうことは少し悲しいし、思い出そうと記憶を辿ってもその影も見当たらない時は、少し怖くなります。「忘却」という大貫妙子さんの曲を思い出します。背中を後ろに引っ張られながら、前傾になって前へ進むような曲、です。私は色々なことを順序立てて覚えていないので、時系列や順を追って物事を記憶している人を見ると尊敬しますし、うらやましいです。

3 **今回の公演の見どころを教えてください。**
A: KAATだから生まれる作品だと思います。沖縄在住の兼島さんの新作を、半分が沖縄ネイティブの役者たちで上演します。77年前、地上戦で島の4人に1人が亡くなったとされる沖縄で、生き延びた人たちの話です。

4 **長塚からの質問です。一年の中で1番大切にしている日は？**
A: 大晦日かなと思います。ここ数年は、大晦日は稽古があっても早めに終わって、元旦は稽古がない場合が多いからか、割と高い確率でひととき作品のことを忘れるというか、生活に目を向ける日です。その年の手帳をパーっとみたり、来年の手帳に家族や友人の誕生日を書き込んだり……。

1 **シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は？**
A: 漢字の作りが、亡くした心で「忘」なのだなぁと。現実を忘れて新しい世界を見せる劇場は、亡くした心を取りもどすための場でもあるのだろうか。

2 **自分にとっての「忘れる」「忘却」とは？**
A: 昔から大事なことほどよく覚えていなかったけど、最近は呼吸をするように色々な記憶が頭の中からこぼれ落ちていく。「忘れようとしても思い出せない」。あのフレーズは洒落でも冗談でもなかったのだと実感する。嫌なことは忘れたほうがいいらしいが、本当にそうだろうか。もう少し頭の中に留まって、沸いた感情をキープさせてもらいたいと思うが、いつも強制的に、器の中身を入れ替えられる感覚。

3 **今回の公演の見どころを教えてください。**
A: 再演となり、深みを増したキャストそれぞれの表現と、新キャストの吹かせる新たな風を楽しみにしています。目指すことは初演同様、目には見えない大切なものを視覚化、目に見える身体表現にすることです。

4 **長塚からの質問です。一年の中で1番大切にしている日は？**
A: 大晦日。家族と一年を振り返り過ごす時間で、一旦、足を止められるような気がするからです。

田中麻衣子 演出家
 2009年より小説や神話をもとに音楽要素の強い作品をつくるthéâtre MUIBOを主宰。最近の演出作品に、『七本の色鉛筆』『パレードを待ちながら』『A New Musical ゆびさきと恋々』『地熱』『怪物/The Monster』『どうぶつ会議』『Shakespear's R&J』など。

森山開次 舞臺家・振付家・演出家
 21歳でダンスを始める。自身の演出振付するダンス作品『KATANA』で、2005年、ニューヨークタイムズ紙にて『驚異のダンサー』と評され、2007年、ヴェネチア・ビエンナーレへ招へい。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞他3賞を受賞。2021年には、TOKYO2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付を担当し、演出とダンサーの両面で精力的に活動している。

2-3月 『蜘蛛巣城』

演出 赤堀雅秋さんへ「忘」を問う

1 **シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は？**
A: 一見ネガティブな印象ですが、忘れていくのは人間の生存本能でもありますよね。ただ昨今の世の中を見ていると、あまりにも「忘れ過ぎじゃないか」とゲンナリもしますが、過ちを繰り返してはかりです。

2 **自分にとっての「忘れる」「忘却」とは？**
A: 『蜘蛛巣城』といえは黒澤明の映画、そして主人公は三船敏郎ですが、今回の舞台版『蜘蛛巣城』は三船敏郎とは全く印象の違う早乙女太一が主人公を演じます。映画にはない「青臭さ」「生臭さ」を観客に届けたいです。

3 **今回の公演の見どころを教えてください。**
A: 『蜘蛛巣城』といえは黒澤明の映画、そして主人公は三船敏郎ですが、今回の舞台版『蜘蛛巣城』は三船敏郎とは全く印象の違う早乙女太一が主人公を演じます。映画にはない「青臭さ」「生臭さ」を観客に届けたいです。

4 **長塚からの質問です。一年の中で1番大切にしている日は？**
A: 特にありませんが、週に一度くらい近所の居酒屋でダラダラと無駄な酒を飲む時間を大切にしています。結局、無駄な時間ほどかけがえのないものはないと思っています。

1 **シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は？**
A: 『忘備録』『忘年会』『忘却』…。ああ、この漢字って「ほう」って読むんだっけ。関係があるのかなのか、人の細胞は早ければ数日で入れ替わっているらしい、と言う話を思い出した。そういえば昔は、今の自分のもつ感情、感覚を忘れてしまう、数日先の自分をほとんど別人のように感じ、憎んでいた気さえる。

2 **自分にとっての「忘れる」「忘却」とは？**
A: 昔から大事なことほどよく覚えていなかったけど、最近は呼吸をするように色々な記憶が頭の中からこぼれ落ちていく。「忘れようとしても思い出せない」。あのフレーズは洒落でも冗談でもなかったのだと実感する。嫌なことは忘れたほうがいいらしいが、本当にそうだろうか。もう少し頭の中に留まって、沸いた感情をキープさせてもらいたいと思うが、いつも強制的に、器の中身を入れ替えられる感覚。

3 **今回の公演の見どころを教えてください。**
A: 岡田さんのテキストから放たれる日本語の面白さってなんだろうということについて考えていきたいと思っています。別の角度から光を照射して、よく知っているものが、それまでとは異なるモノに見えたらいい。人の足の裏を、真下から凝視するような舞台になったらいい。

4 **長塚からの質問です。一年の中で1番大切にしている日は？**
A: 今日。「一番大切な日だと思いたい」から。そのためには明日死ぬかもしれないという実感が不可欠なので、死をなるべくリアルに思い浮かべるようにしています。なかなか難しい。

本谷有希子 演出家
 2000年に『劇団、本谷有希子』を旗揚げし、主宰として作・演出を手がける。主な戯曲に『遺囑』(鶴屋南北戯曲賞)、『幸せ最高ありがとマジで!』(岸田國士戯曲賞)など。主な小説に『生きてるだけで、愛』、『めい毒』(野間文芸新人賞)、『嵐のピクニック』(大江健三郎賞)、『自分を好きになる方法』(三島由紀夫賞)、『静かに、ねえ、静かに』など、著作が海外でもたくさんに翻訳されている。

1 **シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は？**
A: 漢字の作りが、亡くした心で「忘」なのだなぁと。現実を忘れて新しい世界を見せる劇場は、亡くした心を取りもどすための場でもあるのだろうか。

2 **自分にとっての「忘れる」「忘却」とは？**
A: 昔から大事なことほどよく覚えていなかったけど、最近は呼吸をするように色々な記憶が頭の中からこぼれ落ちていく。「忘れようとしても思い出せない」。あのフレーズは洒落でも冗談でもなかったのだと実感する。嫌なことは忘れたほうがいいらしいが、本当にそうだろうか。もう少し頭の中に留まって、沸いた感情をキープさせてもらいたいと思うが、いつも強制的に、器の中身を入れ替えられる感覚。

3 **今回の公演の見どころを教えてください。**
A: 再演となり、深みを増したキャストそれぞれの表現と、新キャストの吹かせる新たな風を楽しみにしています。目指すことは初演同様、目には見えない大切なものを視覚化、目に見える身体表現にすることです。

4 **長塚からの質問です。一年の中で1番大切にしている日は？**
A: 大晦日。家族と一年を振り返り過ごす時間で、一旦、足を止められるような気がするからです。

森山開次 舞臺家・振付家・演出家
 21歳でダンスを始める。自身の演出振付するダンス作品『KATANA』で、2005年、ニューヨークタイムズ紙にて『驚異のダンサー』と評され、2007年、ヴェネチア・ビエンナーレへ招へい。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞他3賞を受賞。2021年には、TOKYO2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付を担当し、演出とダンサーの両面で精力的に活動している。

本谷有希子 演出家
 2000年に『劇団、本谷有希子』を旗揚げし、主宰として作・演出を手がける。主な戯曲に『遺囑』(鶴屋南北戯曲賞)、『幸せ最高ありがとマジで!』(岸田國士戯曲賞)など。主な小説に『生きてるだけで、愛』、『めい毒』(野間文芸新人賞)、『嵐のピクニック』(大江健三郎賞)、『自分を好きになる方法』(三島由紀夫賞)、『静かに、ねえ、静かに』など、著作が海外でもたくさんに翻訳されている。

1月 『星の王子さま』

演出・振付 森山開次さんへ「忘」を問う

1 **シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は？**
A: 漢字の作りが、亡くした心で「忘」なのだなぁと。現実を忘れて新しい世界を見せる劇場は、亡くした心を取りもどすための場でもあるのだろうか。

2 **自分にとっての「忘れる」「忘却」とは？**
A: 昔から大事なことほどよく覚えていなかったけど、最近は呼吸をするように色々な記憶が頭の中からこぼれ落ちていく。「忘れようとしても思い出せない」。あのフレーズは洒落でも冗談でもなかったのだと実感する。嫌なことは忘れたほうがいいらしいが、本当にそうだろうか。もう少し頭の中に留まって、沸いた感情をキープさせてもらいたいと思うが、いつも強制的に、器の中身を入れ替えられる感覚。

3 **今回の公演の見どころを教えてください。**
A: 再演となり、深みを増したキャストそれぞれの表現と、新キャストの吹かせる新たな風を楽しみにしています。目指すことは初演同様、目には見えない大切なものを視覚化、目に見える身体表現にすることです。

4 **長塚からの質問です。一年の中で1番大切にしている日は？**
A: 大晦日。家族と一年を振り返り過ごす時間で、一旦、足を止められるような気がするからです。

森山開次 舞臺家・振付家・演出家
 21歳でダンスを始める。自身の演出振付するダンス作品『KATANA』で、2005年、ニューヨークタイムズ紙にて『驚異のダンサー』と評され、2007年、ヴェネチア・ビエンナーレへ招へい。2013年『曼荼羅の宇宙』で芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞他3賞を受賞。2021年には、TOKYO2020パラリンピック開会式演出・チーフ振付を担当し、演出とダンサーの両面で精力的に活動している。

本谷有希子 演出家
 2000年に『劇団、本谷有希子』を旗揚げし、主宰として作・演出を手がける。主な戯曲に『遺囑』(鶴屋南北戯曲賞)、『幸せ最高ありがとマジで!』(岸田國士戯曲賞)など。主な小説に『生きてるだけで、愛』、『めい毒』(野間文芸新人賞)、『嵐のピクニック』(大江健三郎賞)、『自分を好きになる方法』(三島由紀夫賞)、『静かに、ねえ、静かに』など、著作が海外でもたくさんに翻訳されている。

人間は忘れる生き物。

私たちは、日々多くのことを忘れて生活しています。不都合なことは記憶の彼方へ追いやってしまふ。けれど、そうすることで日々の困難な日常を生き抜いているとも言えます。2022年度シーズン「忘」がいよいよ始まります。せわしない現代の中、過去から未来へと連なっている歴史を忘却することへの警鐘と同時に、忘れられる人間のたくましさへの賛美となるようなシーズンを、皆さまと共に築いていければと思います。

メインシーズン、いよいよ始まります。街にひらかれた劇場へ。KAATはさらに加速し続けます。



KAAT神奈川芸術劇場 芸術監督 長塚圭史

通年プログラム カイハツ

2021年度より取り組んでいる「カイハツ」は、劇場が考える場、豊かな発想を生み出す場となることを目指し、クリエイションのアイデアを「カイハツ」する新しいプロジェクト。新たな表現の実験、ジャンルを横断したアーティストの交流、さまざまな舞台芸術に関する情報の収集など、「企画・アイデアカイハツ」「戯曲カイハツ」「創作プロセスカイハツ」の3つを軸に、劇場の創造活動の核を育てるための活動を行っています。

KAATフレンドシッププログラム

街の一部である劇場、街に飛び出す劇場、またあらゆる人々にひらかれた劇場を目指し、アトリウムを主な会場とした演劇・音楽・ダンス・現代美術・トークイベントなどの催しのほか、バックステージツアーを毎月開催します。

みんなのKAAT バックステージツアー 開催日程
 2022年 8月13日(土)、9月26日(月)、10月3日(月)、11月28日(月)、12月23日(金)
 2023年 1月13日(金)、2月13日(月)、3月13日(月)

所要時間:80分程度 料金:500円
 定員:各回15名(事前申込制)
 詳細は、KAAT HPでご確認下さい。

かながわ 県民割 神奈川県民割引、はじめます!

KAAT神奈川芸術劇場では、劇場をひらく、取り組みの1つとして、新たに、神奈川県在住・在勤の皆様を対象にした、「神奈川県民割引」を開始します。まだKAATにいらしたことがない方、ちょっとご無沙汰の方、いつもご来場いただいている方…ご家族、ご友人、ご近所の方をお誘いの上、この「神奈川県民割引」を使って、ぜひ、ご来場ください!

対象公演:
 KAAT×城山羊の会 『温暖化の秋-hot autumn-』11月13日(日)~27日(日) 大スタジオ
 KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 『ライカムで待っとく』11月27日(日)~12月4日(日) 中スタジオ
 KAAT神奈川芸術劇場プロデュース 『蜘蛛巣城』2023年2月~3月 ホール

対象: 神奈川県内在住・在勤の方

購入方法:
 チケットかながわの電話、窓口(前売のみ、枚数限定、要予約確認)
 ※WEBでの販売はございません。

このほか、全ての主催公演(※一部を除く)で、U24チケット(24歳以下)、高校生以下割引、シルバー割引(満65歳以上)を実施しています。また、本館公演では、特定の日に、託児サービス(事前予約制/有料)も設けています。

詳しくはこちら

KAAT

メインシーズン 2022-23

忘

ぼろ

2022年度メインシーズン開幕!

2022年度メインシーズン「忘」ラインナップ

9月 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
ミュージカル『夜の女たち』 9月3日(土)～19日(月・祝)
 原作:久板栄二郎 / 映画脚本:依田義賢 / 上演台本・演出:長塚圭史 / 音楽:荻野清子
 出演:江口のりこ 前田敦子 / 伊原六花 前田旺志郎 北村岳子 福田転球 / 大東駿介 北村有起哉 ほか
 会場:ホール チケット料金(全席指定(税込)):S席 10,000円 A席 9,000円 / 平日夜割 6,000円(9/8,9/15)
 B席 7,000円 / 平日夜割 4,000円(9/8,9/15) U24チケット(24歳以下):5,000円 高校生以下割引:1,000円 シルバー割引(満65歳以上):9,500円

10月 『スカパン』 10月26日(水)～10月30日(日)
 原作:モリエール『スカパンの悪巧み』 / 訳:内藤俊人 / 潤色・美術・演出:串田和美
 出演:串田和美 大森博史 武居卓 小日向星一 串田十二夜 皆本麻帆 湯川ひな 細川貴司 下地尚子 / 小日向文世
 会場:大スタジオ チケット料金(全席指定(税込)):一般:6,800円 U24チケット(24歳以下):3,400円
 高校生以下割引:1,000円 シルバー割引(満65歳以上):6,300円

11月 KAAT×城山羊の会
『温暖化の秋 -hot autumn-』 11月13日(日)～27日(日)
 作・演出:山内ケンジ
 出演:趣里 橋本淳 岡部たかし 岩谷健司 東野絢香 笠島智 じろう(シソヌ)
 会場:大スタジオ チケット料金(全席指定(税込)):一般:6,000円 早期割引チケット(11/13～16) 一般:5,000円 神奈川県民割引(在住・在勤):5,400円
 U24チケット(24歳以下):3,000円 高校生以下割引:1,000円 シルバー割引(満65歳以上):5,500円
 一般発売:9月10日(土) KAme先行発売:9月3日(土)

11月12月 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
『ライカムで待っとく』 11月27日(日)～12月4日(日)
 作:兼島拓也 / 演出:田中麻衣子
 出演:亀田佳明 前田一世 南里双六 蔵下穂波 小川ゲン 神田青 魏涼子 あめくみちこ
 会場:中スタジオ チケット料金(全席指定(税込)):一般:5,500円 神奈川県民割引(在住・在勤):4,950円 U24チケット(24歳以下):2,750円
 高校生以下割引:1,000円 シルバー割引(満65歳以上):5,000円 一般発売:9月23日(金・祝) KAme先行:9月17日(土)

1月 KAAT DANCE SERIES
『星の王子さま サン=テグジュペリからの手紙』 2023年1月下旬
 演出・振付・出演:森山開次 / 美術:日比野克彦 / 衣裳:ひびのこづえ / 音楽:阿部海太郎
 出演:アオイヤマダ 小尻健太 酒井はな 島地保武 / 坂本美雨 浅沼圭 五十嵐結也 池田美佳 薄田真美子 川合ロク 水島晃太郎 南帆乃佳
 会場:ホール チケット発売:11月(予定)

2-3月 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
『蜘蛛巣城』 2023年2月25日(土)～3月12日(日)
 原脚本:黒澤明 小国英雄 橋本忍 菊島隆三 / 脚本:齋藤雅文 上演台本:齋藤雅文 赤堀雅秋 / 演出:赤堀雅秋
 出演:早乙女太一 倉科カナ / 長塚圭史 中島歩 長田奈麻 久保耐吉 / 赤堀雅秋 銀粉蝶 ほか
 会場:ホール チケット発売:12月(予定)

3月 KAAT 神奈川芸術劇場プロデュース
『掃除機』 2023年3月
 作:岡田利規 / 演出:本谷有希子
 会場:大スタジオ

10月 その他の主催公演
KAAT古典芸能シリーズ つたえつなぐ
舞囃子『高砂』八段之舞 10月15日(土) 16:30 開演
義太夫『源氏烏帽子折 伏見の里の段』 出演:藤澤久 竹本駒之助(出演) ほか
 会場:中スタジオ
 日本の芸能を未来に「つたえつなぐ」、KAATの新たな古典芸能シリーズ第一弾。数少ない女性能楽師として第一線で活躍されている観世流シテ方能楽師 鶴澤久師による舞囃子の上演、そして女流義太夫の人間国宝である竹本駒之助師による素浄瑠璃の上演をおこないます。

12月 『YPAM横浜国際舞台芸術ミーティング2022』 12月1日(木)～18日(日)
 会場:KAAT 神奈川芸術劇場ほか、BankART KAICO 等で開催
 YPAMは、同時代の舞台芸術に取り組む国内外のプロフェッショナルが、公演プログラムやミーティングを通じて交流し、舞台芸術の創造・普及・活性化のための情報・インスピレーション・ネットワークを得る場です。1995年に「TPAM」(東京芸術見本市)として開始。2011年に横浜に移り、略称はそのままに「国際舞台芸術ミーティング in 横浜」に改称、2021年からは名称を「YPAM-横浜国際舞台芸術ミーティング」として再出発し、国際的芸術交流の深化、発展とともに、地域との結びつきを深めていくことを目指しています。KAATでは、公演プログラムの主催者として、多様な作品の上演をおこないます。

チケット取り扱い・お問合せ
チケットかながわ <https://www.kaat.jp>
 窓口:KAAT 神奈川芸術劇場2階 (10:00～18:00、年末年始を除く)
※記号の情報は、作成時の情報です。最新情報は、各公演ホームページで随時更新しています。

KAAT 神奈川芸術劇場
 〒231-0023 神奈川県横浜市中央区山下町281
 TEL.045-633-6500(代表) FAX.045-681-1691
<https://www.kaat.jp>
 ●みなとみらい線:渡田駅から東横線直通で35分!横浜駅から6分!
 日本大通り駅から徒歩約5分。元町・中華街駅から徒歩約8分。
 ●JR根岸線:開港記念館または石川町駅から徒歩14分。
 ●市営地下鉄:開港記念館から徒歩14分。
 ●市営バス:芸術劇場・NHK前すぐ、横浜駅前東口バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約25分) 桜木町駅前バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約10分)
※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。ただし、148系統急行線を除く。
 ●神奈川芸術劇場有料駐車場(65台)もご利用下さい。
 指定管理者:(公財)神奈川芸術文化財団

9月 『夜の女たち』
 上演台本・演出 **長塚圭史**さんへ「忘」を問う

1 シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は?
A:「忘」のイメージはそれぞれに伸びやかに広がりやすく、シーズンにタイトルをつけることがより鮮やかになるのではないかと思います。

2 自分にとっての「忘れる」「忘却」とは?
A:手に持っていた手紙を投函し忘れる、腕時計をどこに置いたか忘れる、昨夜何食べたかを忘れる、そもそも何を忘れてしまったのかを忘れるなど、日々忘却の連続で大変悩ましいですが、しかし忘れることなしに暮らしていくことは困難。さまざまな辛い現実を四六時中抱えて生きることは出来ません。忘れることは人間の防衛本能でもあるのだなあと実感します。

3 今回の公演の見どころを教えてください。
A:荻野清子さんのオリジナル・ナンバー。実に魅力的で力強い。そして歌を本職としない俳優たちがいかに新しい世界を掴むのか。否応無しに突入した新時代を舞台にしています。さまざまな葛藤から解き離れた時に生じるエネルギーも見どころです。

4 長塚からの質問です。一年の中で一番大切にしている日は?
A:自分で質問を投げかけておいていき考え始めるとなかなか浮かんでこなかったのですが、ふと極めてありきたりの日が浮かびました。12月31日。この日をどう過ごすかクリスマス頃からそわそわ考え始めます。新年を迎える準備も大晦日までには整えて、落ち着いた良い一日にして一年を締め括りたいと思うのかもしれませんが。またここ数年は映画監督の大林宣彦御夫妻のご自宅で新年を迎えさせていただいたので、色々なお話を聞くのが単純に楽しみだったということもありました。

長塚圭史 劇作家・演出家・俳優
 1996年、演劇プロデュースユニット「阿佐ヶ谷バイダース」を旗揚げし、作・演出を手がける。2008年、文化庁新進芸術家海外研修制度にて1年間ロンドンに留学。2021年4月よりKAAT 神奈川芸術劇場芸術監督に就任し、『王将』三部作(21)、『近松中物語』(21)などの演出を手がける。俳優として、映画『シン・ウルトラマン』『百花』に出演。

10月 『スカパン』
 潤色・美術・演出 **串田和美**さんへ「忘」を問う

1 シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は?
A:忘? そうだなあ……、僕は何でもよく忘れるなあ。それは歳を取ったからというわけではなく、昔から頼まれたことや、やっておかなければならない事、呆れるほど忘れる。子供の頃は朝起きて、なぜ学校というところに行かなければならないのか、思い出すのに随分時間がかかったっけ。

2 自分にとっての「忘れる」「忘却」とは?
A:一方で「忘れる」ことはとても大切なことだと思っている。演劇というもの、そのあやふやな実態を観客の記憶の中にのみ残して消えていく。託す頼みは観客の心に残った記憶でしかないのだが、その記憶はあやふやなものとなり、忘れ去られた後にどこかわからないところに漂っている。その「思い出せない記憶」の本質こそが、記録に残せないライブパフォーマンスの本質なのだ。

3 今回の公演の見どころを教えてください。
A:この『スカパン』は僕が52歳の時に舞台の上に生まれ出て、コクーンやアヴィニオン演劇祭、松本そしてルーマニアの舞台の上で歳をとり、今年80歳の『スカパン』として蘇る。めでたいことだ。ありがたいことだ。

4 長塚からの質問です。一年の中で一番大切にしている日は?
A:え?!…… そりゃあ今日、「この日、と言うしかないでしょう。そしてこの世から消え去るその日に一番そう思いたいけれど、多分その日はそんなことを考える間もなく、日付などない世界へおさらばするんだろうなあ。

串田和美 俳優・演出家・舞台美術家
 1985年から1996年まで、Bunkamuraシアターコクーン初代芸術監督を務める。2003年4月、まつもと市民芸術館館長兼芸術監督に就任(現・総監督)。劇場を自由自在に使いこなす演出や地域を巻き込んだ企画など、“松本ならではの、事業を次々と実現。2015年には代表作のひとつである『スカパン』がルーマニアのシビウ国際演劇祭に正式招聘され、同年にシビウ・ウォーク・オブ・フェイム賞を受賞。

11月 『温暖化の秋』
 作・演出 **山内ケンジ**さんへ「忘」を問う

1 シーズンタイトル「忘」を初めて聞いたときの印象は?
A:恐らくこの質問を受けたほとんどの人が、こう答えるのではないのでしょうか、「コロナをいかに忘れたんだけど」と。先月などは、時々忘れる時間もありました。そうしたらここ最近では、コロナのやつが「忘れないで〜」と合唱していて本当にしつこい。

2 自分にとっての「忘れる」「忘却」とは?
A:私は、長年CMディレクターとして広告業界にいて、四半はから小劇場で演劇を開始しました。演劇とは似て非なるもので、長年培ってきたモノ、人脈などはまったく利用できず、全てを忘れてゼロから始めました。今、やっている自主映画も、映像だから経験が活きるかと思ったらまったくそうではないのです。かつては音楽活動に没頭していた時期もありました。その財産も全て忘れてしまいました。私は幼い頃から、それぞれのタムをすっかり忘れて次を始めるということを繰り返しているのです。

3 今回の公演の見どころを教えてください。
A:趣里さんとシソヌじろうさん。それから笠島智さん、東野絢香さん。4人の方たちとはまったく初めてで、挨拶さえしたこともないのです。ですから、どういう人なのか全くわからないで書いています。想像上の人物たちです。そして、稽古でお会いすると確実に想像との違いが披瀝されます。この違いを楽しめるか愕然とするか。それが見どころになるのかならないのか。

4 長塚からの質問です。一年の中で一番大切にしている日は?
A:今、一定の期間を忘れながら生きている、と言いましたが、最近では脳細胞が萎縮しているからでしょうか、過ぎ去った日さえ、ことごとく忘れていきます。なので、大切な日はありません。

山内ケンジ 劇作家・演出家・映画監督・CMディレクター
 CMディレクター&プランナーとして活躍し、『INOVA』『コンコルト』『ソフパング』等話題のCMを多数手がける。2004年から演劇の作・演出を開始し、「城山羊の会」を発足、以降毎年新作戯曲を発表し、『トログロ』(14)で第59回岸田國士戯曲賞を受賞。最新作は、長編映画4本目となる『夜明りの夫婦』(22)。脚本・演出による演劇プロデュースを行う城山羊の会では、現在も毎年1本の公演を行っている。